

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和 2 年度

市町村名	富士見市			
提案事業名	東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト推進事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて市民スポーツの推進を図ると共にホストタウンに登録された姉妹都市シャバツ市を擁するセルビア共和国との友好関係を深める。また、共生社会ホストタウンとして、障がいの有無を超えた交流イベントなどパラリンピックの趣旨を含めた事業展開により、障がい者スポーツへの参加向上、障がい者スポーツのファン拡大及び障がい者に対する意識改革を図り、障がい者の社会参画の促進、共生社会の実現を目指す。			
成果指標	(成果を検証する指標) セルビア共和国のホストタウンであることを認知している人数			
	(成果検証の具体的な方法) 各イベント開催時に来場者にアンケートを実施			
	(上記の指標を設定した理由) セルビア共和国のホストタウンであることを認知していただくことで、セルビアとの友好関係を深化できるため			
	(成果の目標値)			
	現状値 (2年5月現在)	4,092	目標値 (3年3月時点)	5,262
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項				

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 東京2020プロジェクト推進事業	日本人オリンピック・パラリンピアンを講師に迎え、レスリング、ハンドボール、ボッチャ、車いすバスケット、四面卓球パレー、東京五輪音頭-2020-等の競技を体験できる教室を開催する。また、体験教室開催時には、セルビア人も参加し、体験教室を通じてセルビア人と市民との交流を行う。 セルビア人講師を招きセルビア語&料理教室を開催、セルビア人によるセルビア料理提供、またセルビア写真展、未来のオリンピック写真展を開催することで多くの方にセルビアを周知することができる。	6,551
②	ハードソフト間接補	
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
合計		6,511

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	市広報・ホームページ、市内に横断幕の掲示、市内公共施設にセルビア写真展の巡回展示、各小・中・特別支援学校に周知バーナーの巡回展示などにより、市民に広く周知。
成果指標の達成見込み	セルビア人と交流できること、日本人オリンピック・パラリンピアンが講師を務める様々な競技種目の体験教室にセルビア人とともに参加できること、セルビア人によるセルビア料理の提供などをすることでセルビアのホストタウンであることを周知できると考えている。